

液体蒟蒻を応用した咀嚼意識向上を目指した豆乳・おからドーナツの開発

静岡県立大学・短期大学部・准教授 **木林 美由紀**

科学研究費助成事業(科研費)

咀嚼力および口腔機能育成を目指した食育支援についての研究(2008-2009 若手研究(スタートアップ))

2007 全国小児歯科開業医会(JSPP)「子どもの摂食状況と生活・食行動及び咀嚼をふくむ口腔内状態との関連性」

2012 地域課題に係る産学共同研究委託事業株式会社白帆タンパク「液体蒟蒻を応用した咀嚼効果のある豆乳・おからドーナツの研究」

良好な噛み合わせと健康および運動能力との関連性についての報告はあるが、咀嚼力との関連性については検討されていなかった。

摂食時の自由咀嚼に着目し、直接的咀嚼力をチューインガムを用いて測定、食行動および生活行動を自記式質問紙票で調査、さらに運動能力は新体力テストの結果を用い、それらの関連性を検討。

咀嚼力の高い者は、食への期待感、咀嚼意識および野菜の摂取頻度が高く、基本的な生活習慣および生活リズムが良好であることを明らかにする。さらに、基本的な体力要素が高いことを示し、咀嚼力と食行動、生活行動および運動能力との関連性を示唆。

咀嚼意識を高め、よく噛む習慣の定着を目指し、液体蒟蒻を応用した豆乳・おからドーナツを開発、2013年4月からプレーン、静岡茶、ゴマ味の市販を開始、食育支援ツールとして、学校給食でも提供予定。さらにミカン、イチゴ、桜エビ味を試作中。今後は、新たな食品への応用を試み、新商品の開発を検討。

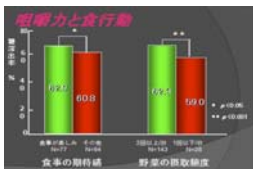


図1 咀嚼力と食行動 (12歳児N=171名)

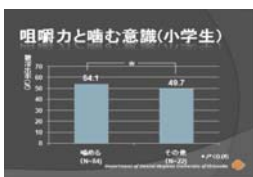


図2 咀嚼力と噛む意識 (11-12歳児 N=106)

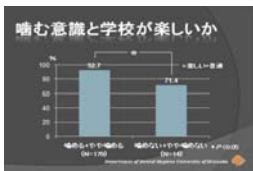


図3 噛む意識と学校が楽しいか (11-15歳児 N=193名)



図4 「けっこうかみごたえあるドーナツ」商品POP

Well-being(幸福・健康)な社会づくりに向けた研究拠点の形成

日本福祉大学・社会福祉学部・教授 **近藤 克則**

科学研究費助成事業(科研費)

社会経済的因子による「健康における不平等」の研究(2002-2004 基盤研究(B))

介護予防に向けた社会疫学研究-健康寿命をエンドポイントとする大規模コホート研究(2006-2009 基盤研究(B))

社会的排除としてのwell-being格差とソーシャル・キャピタルの研究(2011-2015 基盤研究(A))

2009-2013 文部科学省平成21年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

2010-2012 厚生労働科学研究費(長寿科学総合研究事業)「介護保険の総合的政策評価ベンチマークシステムの開発」(H22-長寿-指定-008)

2013- 厚生労働科学研究費(長寿科学総合研究事業)「介護予防を推進する地域づくりを戦略的に進めるための研究」(H25-長寿-一般-003)

生活習慣だけでなく心理的・社会的因子も不健康の危険因子であること、社会経済的な格差による「健康格差」が日本にも見られることを、①理論研究、②大規模調査の横断分析で実証。

③縦断追跡調査に発展させ、コホート研究、パネル調査分析で関連要因や因果関係を解明。

多面的なアプローチにより、介護予防を始め、多くの健康関連領域や社会政策においても、社会疫学的な視点が応用可能であることを検証。

Well-being(幸福・健康)な社会づくりに向けた社会疫学研究とその応用のための拠点として、2009年に日本福祉大学健康社会研究センターを開設。

- 実証研究で得られた知見を、厚生労働行政に反映。社会的対策の必要性や格差是正のための方策を各種メディアで情報発信。
- 「健康格差社会-何が心と健康を蝕むのか」(医学書院、2005)で社会政策学会賞(奨励賞)受賞(2006)
  - 検証「健康格差社会」-介護予防に向けた社会疫学的大規模調査(医学書院、2007)
  - Health Inequalities in Japan: An Empirical Study of the Older People. (Trans Pacific Press, Melbourne, 2010)
  - 「『健康格差社会』を生き抜く」(朝日新聞社、2010)
  - 「『医療クライシス』を超えて」(医学書院、2012)

「健康日本21(第二次)」(2012)の目標に「健康格差の縮小」「社会環境の質の向上」が加わる。

地域間の健康格差と関連要因の「見える化」



介護予防サポートサイト  
[http://www.yobou\\_bm.umin.jp/](http://www.yobou_bm.umin.jp/)

